

メタンガス爆発事故から1年…あの対策、どうなった？

「会期中の安全対策（メタンガス等）について」万博協会ホームページより

- ① 東トイレ・西トイレの便器や配管周囲にシール等を設置し、機械換気設備を設置し、強制換気。地下ピット、室内、天井内に、**ガス検知器を設置**。
- ② **マンホール等の蓋の有孔化**等を行い、滞留するガスを排出。
- ③ ガス濃度測定を継続的に実施し、HPにて、**測定値を毎日お知らせ**することを検討。
来場者等が分かりやすい公表内容もあわせて検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）

2024年3月28日の爆発事故の記者会見での発言（2024/6/24）

記者：「開催期間中に起きてもおかしくなかったのではないか」

万博協会：「…**火は使わない店で**ということ募集をいったんはしているので、それがどこまで皆さんに徹底できるかっていうところにかかってくると思う」
『今日のメタン』みたいな感じで、毎日人を入れる前にお知らせしようかなと考えています」

記者：「国際社会からしたら、なんでそんな所で万博を開いているのかっていうところで、なかなか理解が得られないんじゃないかと思うんですけど、こういった場所で、万博を開くことが適切だとお考えでしょうか」

万博協会：「協会は『ここでやれ』『対策をして開催しろ』と言われているので、その答えは、わたしらに見解はないです。来場者の安全を守るというのは、主催者の当然の義務というか、開催の前提になりますので、そこは信じて来ていただいて、楽しんでくださいと」

そこで、万博会場に行ってみた！

『今日のメタン』のお知らせは、
どこにも見当たらない・・・



マンホール等の蓋の有孔化したが…
4/6、爆発の限界値を超えるメタンガスが検知された。昨年爆発事故のあったトイレのすぐ横のマンホール。消防隊員は防毒マスクをして酸素ポンペを背負って蓋を動かす作業をした。
火は使わない店で、のはずが、フードコートでは裸火が使われていた・・・



高濃度のメタンガスが検出されてきた管の1つ。ガス検知器を塞ぐ簡易ボルトは緩い。

遠足・修学旅行で第二ターミナルを利用する子どもたちは何本もの「ガス抜き管」の横を通って西ゲートに向かう。
「ガス抜き管・危険」「近寄るな」「触るな」などの表示はない。
囲いもなく、誰でも触れる。



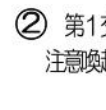
GWエリアには、駐車場、歩道横、メガソーラー内、広場など、いたるところに84本もの「ガス抜き管」が設置されている。

子どもたちがお弁当を食べる場所の
海側（風上）にガス抜き管が並んでいる。

◆4/16万博会場現地調査動画◆ 各30秒程度の動画です。ぜひご覧ください！！



- ① 第1交通ターミナル（シャトルバスの発着場）
第2ターミナル（園内バス発着場）のようす。



- ② 第1交通ターミナルのガス抜き管。
注意喚起の表示がない。



- ③ 第2ターミナルから子どもたちが歩く
ところのガス抜き管。



- ④ GWエリア（昨年3/28に爆発があった場所）
電気設備の地下ピットのマンホールの蓋。



- ⑤ 4/6に爆発濃度を超えるメタンガス
が検知されたマンホール付近。